



JASPIC

《入会のご案内》

日本 SPI コンソーシアム

Building the Community of Leading Software Process Improvement

現代社会で利用されるさまざまな社会システム、産業システムや各種の工業製品などにおいて、その中核を担っているのがソフトウェアであることは言を待ちません。

このような時代に、利用者のニーズを的確に捉えた高品質・高付加価値のソフトウェアを低コストでタイムリーに開発し提供することは、現代のソフトウェア開発組織に与えられた最優先の課題であります。

そして、優れたソフトウェアを開発・保守していくためには、個々の技術者の能力や資質だけに頼るのではなく、高品質・高生産性を達成できる工学的に安定したソフトウェアプロセスを確立する必要があります。このためには、自組織のソフトウェアプロセスの長短所を客観的に評価・認識し、現場に密着した地道な改善活動に常に励む必要があります。

JASPIC は、このような地道な改善活動に日夜励んでいる技術者が、社会組織の壁を超えてプロセス改善に関して各自の経験や技術を交流し合うための場を提供し、ソフトウェアプロセスの改善（以下 SPI といいます）および SPI に伴うプロセス評価（以下 SPA といいます）に関する研究、技術移転、普及活動、国際交流などを行う事を目的に 2000 年に設立された非営利団体です。

- SPI : Software Process Improvement
- SPA : Software Process Assessment



日本SPIコンソーシアム

日本 SPI コンソーシアムについて

活動の趣旨

JASPIC は、地道な改善活動に日夜励んでいる技術者が社会／組織の壁（*1）を越えてプロセス改善に関して各自の経験や技術を交流し、改善技術を高める場を提供する非営利の団体です。

活動の目的

ソフトウェアプロセスの改善（SPI）および SPI に伴うプロセス評価（SPA）に関して、以下を行うことを目的とします。

- (1) SPI および SPA に関して会員相互間の技術的・人的交流を図り、会員各自の技術力向上と技術移転の促進を図ります。
- (2) SPI および SPA について、技術／方法論／モデルの研究を行います。
- (3) 我が国における SPI および SPA に関する社会的認識と技術水準の向上を図るため、上記の活動の成果を活かして、SPI および SPA に関する啓発・普及活動を行います。
- (4) SPI および SPA にかかわるグローバルスタンダード確立に向けた国際貢献や、世界各国におけるカンファレンス等を通じた SEPG の国際交流を行います。

活動の概要

JASPIC は、上記の目的を達成するために、現段階では次のような活動を行っています。

- (1) 会員相互間の技術的・人的交流のための研究会、講演会、セミナー等の開催
- (2) 技術情報の収集及び配布
- (3) SPI および SPA に関する啓発・普及活動となる公開セミナー、ワークショップ、シンポジウム、SPI カンファレンス等の開催
- (4) 本会が目的を遂行するために必要な、SPI あるいはソフトウェアに関する各種団体との交流や支援
- (5) CMM、CMMI の日本語化に対する支援
- (6) SPI 及び SPA 関連文書の発行

- CMMI, the CMMI logo, Data Management Maturity (DMM), and SCAMPI are registered marks of CMMI Institute LLC.

(*1) 社会／組織の壁：英語では、“Social/Organizational Barrier”。会社も含めて、学会、業界団体、政府関係機関、そうした「社会／組織の壁」を意味しています。

このような方におすすめします

- 社内やプロジェクトで SPI 活動を推進したいという熱意を持っている方
- SPI におけるさまざまな経験や知見を交換し、さらにスキルアップを目指したいと思っている方
- CMMI などのモデルをより良く理解し、自分たちの SPI 活動に活かしたいと思っている方

会員特典

1. JASPIC 主催のイベントに会員価格で参加できます
2. JASPIC 会員向けの会合や分科会活動をとおり、他社で SPI 活動を推進している方々との交流ができます
3. CMMI の情報をより早く、正確に入手できます
4. 実務経験豊富な有識者との人的ネットワークが構築できます

JASPIC における活動

JASPIC では、以下の 3 つを中心に活動しています。

1. 例会・分科会・合宿

会員間の情報共有、議論の場として開催しています。

【例会】：年間 5 回（おおよそ 2 ヶ月に一回の頻度）、午後半日で開催します。
講演や会員企業からの事例発表が中心です。

【分科会】：あるテーマに対して、興味を持つメンバが集まり、一年間にわたって深く議論し、成果物を残します。ここで作成した成果物は、JASPIC 会員企業のメンバが活用できるように提供されます。

【合宿】：年一回開催（6 月に開催、2 日間）。特定のテーマに関する議論や各社の SPI 活動事例を紹介する場として活用しています。

2. イベント

SPI に関する実践事例の共有、先端技術の導入および SPI の普及のために開催しています。

- SPI Japan（10～11 月） / JASPIC トワイライトフォーラム（年 4 回程度夜間開催）
→ JASPIC 会員は、無料あるいは会員価格で参加できます。
- その他
社外団体との交流および、国際会議への派遣なども実施
→ SPI 以外の幅広い情報 / 海外の最新動向を入手できます。

3. セミナー、トレーニング

JASPIC 会員のスキルアップを目指した活動です。JASPIC 会員の要望に基づいて計画され実施されます。

分科会（2022年12月現在）

各分科会では、5～10名のメンバが各社の事例を持ち寄って内容の濃い議論を行っています。

- SPI 推進課題分科会
- SPI 事例研究分科会
- ソフトウェアプロセスデータ実践分科会(コミュニティ)
(旧：Statistical Process Control 分科会)
- SPI 現場ノウハウ交換分科会
- コア・コンピテント・チーム研究会
- プロダクトライン分科会
- 人材育成分科会
- 関西分科会（SPI 理想可視化分科会）
- 要件定義プロセス分科会
- プロセス改善戦略分科会
- IDEAL モデル実践研究分科会
- オフショア分科会
- アジャイル分科会

JASPIC 法人会員（2022年12月現在）

- アズビル株式会社
- 株式会社インテック
- 株式会社 S R A
- NEC ソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社 N T T データ
- オムロンソフトウェア株式会社
- キオクシア株式会社
- キヤノン I T ソリューションズ株式会社
- 株式会社シーエーシー
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 学校法人千葉工業大学 小笠原研究室
- T I S 株式会社
- 株式会社東芝
- パナソニック株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社日立ソリューションズ
- 富士通株式会社

JASPIC の年会費

法人会員は、年会費は基本額を25万円とし、運営委員を含む研究員を3名まで登録できます。3名を超える研究員登録を望む場合は、追加1名当たり71,400円を基本額に上乗せした年会費を納入するものとしています。ただし、6月1日以降に参加した正会員の初年度の年会費は半額を免除します。**個人会員**の年会費は7万円です。ただし、6月1日以降に参加した個人会員の初年度の年会費は半額を免除します。**分科会会員**の年会費は参加する分科会あたり3万円です（詳細は以下の会則・細則をご参照ください）。

JASPIC への入会方法

会則・細則について

次のサイトを参照してください

<https://www.jaspic.org/organization/bylaws/>

お問い合わせ

事務局までご連絡ください

日本 SPI コンソーシアム (JASPIC)

<https://www.jaspic.org/>

事務局

E-mail : infoA@jaspic.org

住所：〒171-8513

東京都豊島区南池袋 2-32-8

株式会社 S R A 内

電話：03-5979-2656